

令和5年度福井県立南越特別支援学校スクールプラン



校訓	元気に やさしく 輝いて
教育目標	健やかな身体と豊かな心を持ち、人とかかわりながら、自分らしく生き生きと、社会の中で生活できる子どもを育成する。

目指す子どもの姿	「なんだろう」「なぜだろう」と興味をもって学びに向かう子(主体的な学び) 経験(けいけん)や体験(たいけん)した学びを生活にいかせる子(思考判断表現) えがく未来の自分に自信をもって学び続ける子【共生社会、深い学び】 つながりあって学びを広げ深める子(学びの連続性、対話的学び)
----------	--

<p><b>教育方針</b></p> <p>(1) 幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した適切な教育活動を展開し、個々の可能性を最大限に引き出し、生きる力を高めていく。 (2) 学校や地域社会で、お互いが育ち合う様々な集団活動の場をつくっていく。 (3) 一人ひとりの状況や多様な障害を理解し、それぞれの成長をサポートする体制を学校全体で整える。 (4) 関係機関と連携しながら、交流活動や進路指導・相談機能を充実させ、地域の特別支援教育を推進する。</p> <p><b>キーワード つながり</b></p> <p>テーマ「相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会の実現を目指して」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できる体験を価値ある経験として意味づけ、生きる力に高める。</li> <li>・想像力(相互理解)と思いやり(尊敬)と言葉(対話)を大切にす。</li> </ul>
---

<p><b>学校業務改善のための取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供や情報共有の方法の効率化と最適化を図り、勤務時間の有効活用を意識する。</li> <li>・ワークライフバランスや職場環境改善に自分事として取組む。</li> </ul> <p><b>人権教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感を高め、自分や他者のいのちを大切にする心を育てる。</li> <li>・互いに助け合い、協力する活動を推進する。</li> </ul>
---

<p><b>重点目標</b></p> <p><b>教育課程・学習支援</b> 学びをつなげる (図書研究部 教務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの「かかわる、楽しむ、生活する」力が心豊かに育つため、子どもたちに応じた適切なねらいを見極め、その学びを丁寧に見取りながら授業づくりを進める。 見取りや記録を個別や年間計画、教育課程に反映(指導案の工夫)</li> </ul>	<p><b>生徒支援</b> 学びをつなげる (指導部 保健部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがかかわりを持ち、つながりを深めたりできるような支援の工夫や改善を図る。</li> </ul> <p>学部間の交流の場を設ける 他学部について知る</p>	<p><b>進路支援・生活支援</b> 未来へつなげる (進路指導部 渉外部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携しながら、進路選択や生活支援に必要な情報を継続的に収集・発信する。</li> </ul> <p>広く情報提供 ニーズに応じた情報提供</p>	<p><b>地域支援</b> 地域とつながる (教育相談部 学部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流および共同学習をはじめとする地域活動が有意義なものになるように、クラスやグループ、学部等で目標設定や振り返りを行いながら、計画的、組織的に活動を実施する。 地域に出かけて活動する 広報の場を開拓する</li> </ul>	<p><b>組織運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人ひとりが自分らしさを発揮し、互いを尊重しながら、主体的に学び合う組織づくりを推進する。 学び、進化する学校運営</li> </ul>
---	---	---	--	--

<p><b>具体的取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちに育てたい力、育ちの姿(姿容)を様々な観点から見取りながら、授業や支援が最適であったかどうかを振り返り、次に生かす。そのために、単元(題材)案や指導案の作成や修正および、児童生徒の記録の工夫を行う。</li> <li>・各学部に1名の外部講師を迎えて、指導助言を受けながら授業研究の充実と専門性の向上を図る。</li> </ul> <p>目標:子どもたちの充実した学びと教員の専門性の向上(80%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事において子どもたちが明るく元気に活動し日ごろの学習の成果を発表できるように計画及び運営を行う。</li> <li>・子どもたちが活動を通してつながりを感じることができるよう支援する。</li> </ul> <p>目標:児童生徒がつながりを持つための支援の充実。(80%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路説明会の開催や、進路相談、進路だより、情報集の発行を通じて、児童生徒、保護者、教職員に情報を提供する。</li> <li>・小、中、高等部それぞれで進路説明会を開き、生活・就労を支援する制度、進路学習の流れ、制度利用の手続きなど、各年代のニーズに沿った情報を提供する。</li> <li>・「何でも相談会」の再開に向け、内容を再検討するとともに、丹南地区自立支援協議会との共催を模索する。</li> </ul> <p>目標:進路選択や生活支援のための情報提供の充実。(70%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスやグループ、学部会等で事前、事後に話し合う機会を設け、目標を共通理解したり、双方の配慮点を確認するなどして、成果や課題を整理しながら活動の充実に努める。</li> </ul> <p>目標:交流および共同学習をはじめとする地域活動の充実。(80%以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等の活性化を図り、業務の実行や自己研鑽を行う。</li> </ul> <p>目標:心理的安全性を確保された環境のなかで、積極的に質問したり自分の意見を言ったりすることができる。(80%以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのよさや強みを生かして業務を遂行し、効率化と協働体制の充実を図る。</li> </ul> <p>目標:業務改善を図るための工夫を個人やグループで考え、実践する。(80%以上)</p>
--	---	--	--	---